

奥卯辰山健民公園 中期経営目標

(実施期間 平成29年度～平成33年度)

平成29年3月 策定

1 施設の設置目的

都市公園は、緑のオープンスペースによる都市の景観や環境の維持・向上を図るとともに、良質な生活基盤として県民の利用に供することにより、まちなかの賑わい創出や健康福祉などに寄与することを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

奥卯辰山健民公園は、金沢市東部丘陵の西側斜面に位置する総合公園であり、旧ゴルフ場の芝生を生かした芝生広場をはじめ、デイキャンプ場、遊具広場、パークゴルフ場などを有し、近年では、里山の自然体験ができる棚田の里山保全園地や尾根筋の里山回廊交流広場なども整備し、学校教育の場としても利用されています。

本公園は、健康運動、休息、自然観察といった、県民の多様なレクリエーション需要に応えることを役割としています。

3 事業内容

(1) 良好な景観や環境の保全・創出

園地や施設の整備と良好な管理により、市街地を取り巻く丘陵地の自然景観を保全し、緑豊かな快い環境を創出します。

(2) 野外におけるレクリエーション活動の場の提供

芝生広場を活用したパークゴルフ等のスポーツ活動、学校関係での遠足、デイキャンプ場でのバーベキューなどの野外活動の場を提供します。

(3) 自然体験・学習の場の提供

樹林地を活用した自然観察や星空観察、里山保全園地での農業体験などの野外学習の場を提供します。

(4) 県民参加による交流の場の提供

公園で開催される様々なイベントへの参加などを通じた交流の場を提供します。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・奥卯辰山健民公園では、民間のノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。
- ・公園利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、備品及び植栽等の

維持管理及び修繕に関する業務などは指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である平成29年度から33年度までは、「株式会社 岸グリーンサービス」を指定管理者として指定しました。

- ・ 県では、利用状況や利用者からのご意見、小修繕の実施状況などの管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、老朽化した施設の更新・修繕や運営指導等を行うなど、適正な管理・運営に努めています。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・ 都市公園の管理にあたっては、「安全・清潔で美しい空間づくり」を基本とし、芝生の刈り込み、樹木の剪定、害虫の防除などの維持管理作業を計画的に、かつ状況に応じて実施し、緑地環境の維持向上、来園者に気持ちよく利用していただける環境づくりに努めるとともに、利用者の増大や交流につながるイベントの開催などに努めています。今後も、これまでの実績を活かしつつ、さらに効率的、効果的な手法を研究し、取り組んでいく必要があります。
- ・ 奥卯辰山健民公園では、芝生広場の一部を利用したパークゴルフ場や、自然と親しみ、問題を解きながら園内を回るネイチャーウォークラリーコース、公園センター内のスペースを活用したオープンカフェなど、指定管理者による自主事業を積極的に行っています。
- ・ パークゴルフ場は、平成21年11月に国際パークゴルフ協会（現日本パークゴルフ協会）の公認コースの認定を受けており、県内外から多くの利用者を得ています。
- ・ 平成30年には新公園センターが供用されるため、本公園の最大の特徴である広大な芝生広場や里山保全園地や里山回廊交流広場などと合わせて活かし、県民の多様なニーズへの対応やサービスの向上を図っていく必要があります。
- ・ 広報活動として、ホームページの開設や各種マスメディアを活用した情報発信を行っていますが、今後とも情報発信の充実に努めていく必要があります。
- ・ 県民参加型の公園として、より活性化していくためには、地域や関係機関、ボランティア等との連携を促進することが必要であり、それに向けた取り組みを進めていく必要があります。

(3) 施設運営の効率化について

- ・ 県と指定管理者間で連絡体制を確立し、常に情報を共有するなど、非常時にも即時対応できるよう連携を図り、迅速かつ効率的な施設運営を行っています。
- ・ 今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを公園利用者に提供するとともに、管理経費の削減に努める必要があります。

5 中期経営目標

(1)中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ①利用者数を5年間で5%増加させます。
- ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

(2)測定指標と目標値

測定指標		実績値(H27)	目標値(H33)
① 利用者数		193,685人	204,000人
②利用者アンケート における満足度	利用者サービス	98.3%	95%以上
	施設の維持・管理	99.2%	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1)施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

①利用促進に向けた取り組み

- ・広大な芝生広場では、引き続きパークゴルフ大会や親子向けイベント「はだしの王国奥卯辰」を開催するとともに、季節ごとの公園の魅力やエリアごとの特色を紹介するネイチャーウォークラリーや「みどころマップ」など、様々な自主事業を実施し、利用促進に努めます。
- ・公園センターでは、オープンカフェの運営や各種団体と協働したアートギャラリーの開催に加え、平成30年から共用される新公園センターの広大なロビーを活用したボディケアやスポーツ教室など、雨天に左右されない新たな自主事業を実施し、更なる利用促進に努めます。
- ・「いしかわ自然学校」などと連携し、親子で参加できる星空観察会といった自然体験プログラムを充実し、子育て世代の利用を一層働きかけます。
- ・イベントの告知や四季折々の風景の掲載など、ブログによるリアルタイムな情報発信を充実し、公園の魅力を発信します。また、イベントチラシを市内小学校に加え、新たに子ども交流センターなどの子どもの利用が多い施設にも配布するほか、高齢者の健康づくりのため、県内の公民館にパークゴルフの魅力をPRするなど、一層の情報発信に努めます。
- ・地域や関係機関、ボランティア等との連携を深めるため、公園スタッフと各種団体等との話し合いの場となる「運営協議会」の運営や、施設の維持管理やイベントの運営に携わるボランティアスタッフの公募などに取り組みます。

②利用者サービスの向上に向けた取り組み

- ・適切な接遇ができるよう、徹底したスタッフ教育を実施します。
- ・デイキャンプ場の食材のケータリング仲介サービスの実施に加え、利用者のニーズに応じて適宜メニューを見直すことによって、利用者の満足度向上に努めます。
- ・手ぶらで来園しても楽しめるように、引き続きスポーツ用品やちびっこゲレンデ用にそりや遊具の貸し出しを行うほか、新公園センター内のキッズコーナーの遊具を充実して子育て世代への配慮に努めます。
- ・利用者の声を利用者からの聞き取りやアンケート、インターネット等により幅広く収集し、県と指定管理者でその対応について協議します。また、要望の回答は施設内に掲示します。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・高性能機械を使用した迅速な維持作業により管理費の縮減を図るとともに、利用不能時間を短縮し、利用環境の向上に努めます。
- ・自主事業によるパークゴルフ場とオープンカフェの利用を定着させ、安定的な利用料収入により計画的な施設の維持補修を行い、快適性の向上に努めます。
- ・剪定枝のマルチング材としての再利用や、芝生の刈くずの堆肥化など、廃棄物の減量化や環境に配慮した管理に努めます。
- ・インターネットを利用したデイキャンプ施設の予約を継続し、事務の合理化に努めます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)指標(利用者数の状況)

項目	H25	H26	H27
利用者数	159,820 人	169,483 人	193,685 人

(2)使用許可等の状況

項目	H25	H26	H27
デイキャンプ場野外炉	1,090 サイト	1,394 サイト	1,592 サイト

(3)使用料の収入実績

項目	H25	H26	H27
デイキャンプ場野外炉	1,962 千円	2,579 千円	2,945 千円